



さつき学園だより

令和6年3月22日号

校長 原田 英和

守口市立さつき学園

〒570-0055 大阪府守口市春日町13番26号

電話：06-6991-0440／Fax：06-6995-2511

まだ寒い日が続きますが、桜のつぼみの膨らみを見ると、確実に春に近づいていることが実感できます。保護者の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、今日、大アリーナで全校児童生徒を集め、対面の形で3学期の修了式を行いました。今年度、グラウンドで全校児童生徒が集まって行う学園集会はありませんでしたが、コロナウイルス感染症拡大以来、初の大アリーナでの開催となりました。集会では、年度初めに子どもたちに伝えた「あいさつができる子」「ありがとうと言える子」「思いやりのある子」について話をしました。子どもたちは真剣な眼差しでしっかり聞いていました。その姿を見ていると、子どもたちの更なる成長が期待できると確信しました。

令和5年度は学校としても、過去の良いところは継承しつつ、新しいことに挑戦する1年でもありました。その中の一つとして、ステージ制を取り入れたことが挙げられます。ステージ制とは発達段階を考慮しながら、1年生から4年生（ファーストステージ）、5年生から7年生（セカンドステージ）、8年生と9年生（サードステージ）の節目を意識しながら9年間の教育活動を実践していくことです。今年度、学校施設のメリットを最大限に生かし、前期課程と後期課程の教職員が協働して、専科指導や生活指導など一体となった指導体制を作っていく第一歩を踏み出しました。次年度は更にステージ制を活用し、義務教育学校の特性を生かした取り組みを進めていきたいと思っています。

<修了式・卒業式>

3月15日（金）、午前中に第8回修了式、午後から第8回卒業式を行いました。修了式では6年生が堂々とした姿で、6年間の思い出と感謝の気持ち、次年度の抱負を語ってくれました。言葉の一つひとつに気持ちがこもっていて、4月からの活躍が楽しみになりました。卒業式では9年生が凛とした姿で式に臨み、すばらしい卒業式になりました。特に卒業の歌として歌った「YELL」は大変すばらしい歌声で、来賓でお越しいただいていた来賓の方々からも「合唱コンクールで聞いているようでした。」や「すば



らしい歌声で感動しました。」と絶賛されていました。また、送辞や答辞も心を打つ内容で、多くの卒業生や保護者、教職員が涙を流していました。私（校長）もさつき学園創立時から勤務していますが、当時2年生だった姿が思い浮かび、感慨もひとしおで胸が熱くなりました。

今回、式本番には参加できませんでしたが、5年生が修了式、8年生が卒業式の予行に参加しました。立派な6年生と9年生の姿を見ることができたのではないかと思います。そしてしっかりと先輩からバトンを受け継いだと思います。



<夜間学級卒業式>

さつき学園には、前期課程と後期課程だけでなく夜間学級で学ぶ生徒がいます。同じ日に卒業式が行われ13名の生徒が卒業しました。夜間学級は様々な理由で学齢期に学校に通えなかった人や日本に来て間もない外国人の方々などが通っています。卒業生の中には9年間、この夜間学級で学んだ方もいます。卒業生の言葉で「学校は私の宝物」という言葉が印象的でした。学ぶことの本当の意味を考えることができたように思います。さつき学園は、6歳から80歳代までの幅広い年齢の方が同じ場所で学ぶ日本で唯一の学校です。今後は夜間学級の生徒の皆さんと一緒に交流する機会をもっと増やしていきたいと思っています。